

# 上 山 会

上 山 信 一

(慶應義塾大学大学院教授)

昨年10月8日、東京 六本木ヒルズクラブにて上山会を開きました。参加者は15名です。上山先生は西洋法制史の御専攻で、1989年に退官されました。先生は御退官後も活発な研究・執筆活動を続けておられます。そこで上山会は、実は先生の現役時代とあまり変わらぬ“ゼミ”形式を踏襲しています。今回も前半は先生の新著「宗教と科学 ユダヤ教とキリスト教の間」(岩波書店)の解説、執筆の経緯をお聞きしました。

ゼミのOB生の職種はさまざまです。公務員、弁護士はもとより、金融マン、新聞記者、税理士からコンサルタント、研究者、そして医師、音楽プロデューサーもいます。後半は、各自の近況報告とともに専門分野から見た日本社会の問題、業界事情などを披露しあいました。先生は今年80歳になりますが、世代を超えたこの自主ゼミ型同窓会、毎年続けていきたいと一同改めて誓い散会しました。



有信会誌 No. 48 2006

2006年3月1日

発行 京都大学有信会